

私はTPP参加に賛成です

もちろん、農林水産業者や
繊維業者への政策的配慮を充
分しなければなりません。

蒲郡市長及び蒲郡市議会の
自民党会派は共産党に同調し、
TPP参加反対を表明しまし
た。

このような荒っぽい決議は、
貿易立国日本がこれまで歩ん
で来た道を自己否定すること
になります。そして将来に亘
り進むべき道を絶つことにも
なります。

本年(2010年)12月3
日、米国と韓国はFTAに合
意をしました。

これは、5年以内に貿易品
目の95%以上で関税が撤廃さ
れるというものです。

韓国が日本の手強い競争者
となつている今、このままで
は米国市場で持っている日本
の工業製品のシェアは奪われ
てしまうでしょう。

本市においても直接的輸出

事業者や間接的輸出事業者が
あり、多大な悪影響を受ける
ことは明らかです。

このような状況下において
は、早急に議論を深め、TP
P参加に向け動き出すべきで
はないでしょうか。

農林水産業者への政府対応
政府は11月26日に「食と農
林漁業の再生推進本部」の設
置を正式に決定しました。

合わせて民間企業の経営者
や農業団体の幹部、学識経験
者などで構成する「食と農林
漁業再生の実現会議」の設置
も決定しました。

経済産業省の試算

TPPに参加しなかった場
合、自動車、電気電子、機械
産業の3業種について、実質
GDPの減少額が10.5兆円、
雇用の減少81.2万人となつ
ています。

農林水産省の試算

農業に何の対策もせずTP
Pに参加した場合、農業関連

産業への影響は、GDPの減
少額7兆9000億円で就業
機会の減少は340万人とな
つています(注、現在の農業
就業人口は260万人です)。

内閣府の試算

マクロ経済効果分析でTP
Pに100%自由化で参加の
場合、実質GDP増加額は2.
4(3.2兆円と予測されて
います)。

愛知県の試算

国の試算を基にして算出し
た愛知県の状況です。

一、TPPに参加しない場合、
県内の主要産業の輸出額は1
4兆円減り、雇用は10万2千
人減るとなっています。

二、TPPに参加した場合、
工業出荷額は1,600億か
ら2,200億円の増加が見
込まれます。

三、農林水産業者に対策せず
TPPに参加した場合、農林
水産業品は940億円の生産
減少となっています。

蒲郡市の試算は現段階で出
されておりません。愛知県の
試算を基にすると、かんきつ
類9%減少、鶏卵18%減少と
なっています(ブランド評価
はしていません)。

農業大賞を頂いた蒲郡みかん
の場合、国際競争力は充分あ
ると考えられ、大きなビジネ
スチャンスとなります。要は
販売力の問題ですが、JAさ
んのお力により出荷額は伸び
るのではないのでしょうか。

水産品への影響は主にウナ
ギとノリとなっており、蒲郡
市への影響評価は不明です。

解説

TPP(トランス・パシフ
イック・パートナーシップ)
環太平洋戦略的経済連携協定
II 太平洋周辺国全体において、
一般的には例外を認めず、全
ての品目に関税をかけない自
由貿易を目指した協定のこと。
日本は調査に入るとい段階

にある。

FTA(フリー・トレード・アグリーメント)自由貿易協定「物品の関税をかけず、サービス貿易等の障壁など撤廃し、自由貿易地域を目指した、2国間協定のこと。日本はメキシコ、チリ、ペルー、アセアン7ヶ国と各々発行済み。

御園慎一郎(みそのしんいちろう)さん。今、知事として求められています。



11月から数回にわたり、御園慎一郎さんのお話を伺う機

会がありました。

行財政改革や議会改革を目指すことは当然であるとし、私の考えとほぼ一致しました。また、三河担当副知事を配置して頂けるということ、蒲郡市にとっても期待される場所です。

心配していることは、K.O組など、マスコミ迎合的劇場型政治のお粗末さです。

御園慎一郎さんはどっしりと構えた政治で愛知県をリードしていく姿勢をとっていました。

御園慎一郎さんの略歴

- 53年 (昭和28年)3月12日 長野県富士見町生まれ
- 東京大学 法学部卒業
- 98年 愛知県 総務部長
- 03年 総務省大臣官房課長
- 05年 厚労省大臣官房審議官
- 07年 内閣官房内閣審議官
- 総務省大臣官房審議官
- 08年 地方公共団体金融機構
- 10年 愛知東邦大学理事

莊田博己(しょうだひろみ)さん。市から県への飛躍が期待されています。



莊田博己さんと私は市議会の中で、時には考えの違いから激論を交わし、時にはがちりとスクラムを組んで活動して参りました。

とりわけ本12月議会のTPP議論においては市長、自民党会派の見識の甘さを多方面から追及したところです。会派は違いますがお互いに強い信頼関係を保ち、蒲郡市

民の皆さまのためという、その一点に向かい、政策展開しています。

彼は蒲郡だけでなく、この愛知県においてさえ、トップクラスの議員であることは間違いありません。

このように有能な人材が蒲郡市議会から離れることは残念でなりません。

しかし有能であるからこそ、大きな枠組みから蒲郡市民の幸せのために仕事をして頂くことに、期待するところです。

莊田博己さんの略歴

- 56年 (昭和31年)11月30日 蒲郡市生まれ
- 時習館高校卒業
- 同志社大学法学部卒業
- 86年 学習塾「学伸会」塾長
- 03年 蒲郡市議会議員(一期)
- 07年 蒲郡市議会議員(二期)
- 総務委員長等歴任

総合公共交通体系の確立へ

私は蒲郡市に対し、総合公共交通体系整備を訴えてまいりました。

本12月議会での私の一般質問のなかで、市は体系整備に着手することを明らかにしました。

これまで蒲郡市には愛知県が認める政策推進根拠となる計画も何もありませんでした。そこで現在策定中の第4次総合計画に取り入れ根拠計画とすることになりました。

来年度以降になります。が、名鉄電車を残すことも含め、場合によってはぐるりんバスが走るようになるかもしれませんが、公共交通過疎地解消に向け、一歩ずつ政策推進してまいります。

(一) 決定された支援内容について

(二) 恒久的存続に向けた議論について

(三) 総合公共交通体系の確立について

二、蒲郡市第4次総合計画について

(一) 基本理念について

(二) 現在の進捗状況について

(三) 政府が進める行政機構変更への対応について

(四) 議会提示の時期について

三、学校統廃合の危険性について

(一) 学校統廃合検討委員会設置について

(二) 統廃合の必然性について

(三) 教育に行財政改革を当てることへの危険性について

(四) 現状を利点と見ることについて

討論

一、「TPPの参加に反対する請願」に反対する討論

二、「TPP交渉参加反対に関する意見書」に反対する討論

議会報告

一般質問

一、名鉄西尾・蒲郡線の支援について